

☆3.8 国際女性デー「学習会・街宣活動」を実施しました☆

発行日：2024年3月19日

《 3.8 国際女性デー 学習会 》

3月2日（土）倉吉体育文化会館において、「3.8 国際女性デー 学習会」を開催し65人（女性43人、男性22人）が参加しました。

冒頭、小谷くみこ委員長は、1月に発生した能登半島地震に触れ「被災時に女性が被る様々な問題があります。例えば、意思決定に女性の参画がなかった。女性は生活現場的な役割を担わされる。という記事を読みました。これは、被災地だけの問題でなく、私たちみんなの問題です。女性の視点の必要性や女性の人権を守るため、私たちは何をすべきか。みなさんとともに考えていきたいと思えます。」とのあいさつがあり、続いて、連合鳥取山一樹会長から来賓あいさつがありました。

また、今回の学習会には鳥取県議会鳥取市選挙区補欠選挙に連合鳥取が擁立した「吉田まさし」さんが来られ、『『活力あふれる参加型社会実現へ』みなさんのご支援をお願いいたします。』とのあいさつがありました。

今回の学習会は、非営利活動法人 ファザーリング・ジャパン中国、鳥取県人権教育アドバイザーの佐藤淳子さんをお招きし、「働き方改革のキーワード ～ジェンダーバイアス、ダイバーシティを知る～」と題し、ご講演いただきました。

- ①働き方改革と国際女性デー
- ②ジェンダー（社会的性の差）を知る 働き方改革推進の壁
- ③ダイバーシティ（多様性）を知る 働く環境の中のダイバーシティ
- ④働きやすい環境とは

の4項目に沿って講演されました。多種多様な価値観を持った人々が集まっても、多様性を認め合い、誰もが過ごしやすい環境をつくり、自分の中に潜んでいる「男らしさ」「女らしさ」といった固定的な観念を考えるきっかけになったのではないのでしょうか。最後に、水から（自ら）作る「美味しいごはんの作り方」を紹介され、何事も自ら行動していくことの重要性を伝えていただきました。

続いて、アピール採択、参加者全員によるアピール行動を行い、閉会しました。



▲会場の様子



▲講師の佐藤淳子さん



▲吉田まさしさん



▲参加者全員でのアピール行動

《 3.8 国際女性デー 街宣活動 》

学習会前に、あじそうパープルタウン店入口で、【3.8 国際女性デー メモ帳】と【デフレマインドを洗い流そう！ベアスポンジ】を来店のみなさんに配布し、「3.8 国際女性デー」のPRを行いました。



▶配布したメモ帳とベアスポンジ

★ご意見などは連合鳥取まで

[TEL: 0857-26-6605](tel:0857-26-6605)

[Mail: tottori@tottori.jtuc-rengo.jp](mailto:tottori@tottori.jtuc-rengo.jp)

